

かんきつ栽培暦

令和7年度 呉地域 かんきつ栽培暦

重点管理作業	定期(基幹)防除		追加防除		定期(基幹)および追加防除 シモン
	み	旬	かん	中 晩 柑	
● 若土・石灰資材の施用 ● 堆肥の施用と中耕 ● 間伐 ● 中晩柑の剪定	2	全	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 春草の除草	3	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 春肥の施用	3	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 花肥の施用 (10aあたり硫酸20kg)	4	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 温州みかんの剪定 (開花後に弱剪定)	5	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 夏肥の施用	5	下	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 摘果剤使用方法 みかんの摘果剤は、はるみの摘果:1,000倍 (摘果後10~40日後) フィガロン乳剤 みかんの摘果剤は、はるみの摘果:2,000倍 (摘果後20~50日後) ※千ばつ病、樹勢低下の場合使用しない	6	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● タイベックマルチの被覆	6	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 中晩柑の荒もぎ摘果	7	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 中晩柑の仕上げ摘果	7	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 夏草の除草 ● 温州みかん熟期促進 (1回目) ● フィガロン乳剤 3,000倍 ※千ばつ病、樹勢低下の場合使用しない	7	下	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 葉面散布 (果皮強化と品質向上) カルビタP 770倍	8	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 温州みかん熟期促進 (2回目) フィガロン乳剤 3,000倍	8	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 秋肥の施用...中晩柑	9	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 温州みかんの仕上げ摘果	9	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 葉面散布 (果皮強化と品質向上) カルビタP 770倍	9	下	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 葉面散布 (果皮強化と品質向上) カルビタP 770倍	10	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 秋肥の施用...みかん	10	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● タイベックマルチの除去	10	下	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	11	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	12	中	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	1	下	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	1	上	かん	中 晩 柑	定期(基幹)および追加防除 シモン

施肥基準

(温州みかん:10a当たり生産量4トン目標の場合)
(いしじ、中晩柑:10a当たり生産量3トン目標の場合)

春肥	夏肥	秋肥
3月下旬	5月下旬	10月~11月上旬
元気 866	元気 866	元気 866
濃縮 348	濃縮 348	濃縮 348
4袋	3袋	7.5袋
3袋	2袋	4袋
4袋	3.5袋	7.5袋
3袋	3袋	5袋
3袋	3袋	4袋

※濃縮348は15kg入り。
※いしじの肥料を元気866または濃縮348で行う場合は、5月下旬と6月中旬に分施する。
※元気200を使用することで、施肥コスト低減を図る。
※元気200で肥効施用の場合、分肥の必要はない。

極 早 生	早 生・普 通	い し じ	大 津・青 島
3月下旬	3月下旬	3月下旬	3月下旬
元気 866	元気 866	元気 200	元気 200
濃縮 348	濃縮 348	濃縮 348	濃縮 348
4袋	3袋	2.5袋	2.5袋
3袋	2袋	5袋	5袋
4袋	3.5袋	9袋	7.5袋
3袋	3袋	6袋	5袋
3袋	3袋	7袋	4袋

※濃縮348は15kg入り。
※いしじの肥料を元気866または濃縮348で行う場合は、5月下旬と6月中旬に分施する。
※元気200を使用することで、施肥コスト低減を図る。
※元気200で肥効施用の場合、分肥の必要はない。

いしじ (香力化基準)	中 晩 柑	中 晩 柑
3月下旬	5月下旬	9月上旬
元気 200	元気 200	元気 866
濃縮 348	濃縮 348	濃縮 348
2.5袋	6袋	6袋
5袋	5袋	5袋
5袋	5袋	5袋
5袋	5袋	5袋

※元気200を使用することで、施肥コスト低減を図る。
※元気200で肥効施用の場合、分肥の必要はない。

中 晩 柑	中 晩 柑
3月下旬	5月下旬
元気 200	元気 200
濃縮 348	濃縮 348
5袋	5袋

※元気200を使用することで、施肥コスト低減を図る。
※元気200で肥効施用の場合、分肥の必要はない。

中 晩 柑	中 晩 柑
3月下旬	5月下旬
元気 200	元気 200
濃縮 348	濃縮 348
5袋	5袋

※元気200を使用することで、施肥コスト低減を図る。
※元気200で肥効施用の場合、分肥の必要はない。

土壌改良資材

〈有機物資材〉必要に応じていずれかの資材を施用
10a当たり施用量目安
豊穡...2トン こだわり健康...2トン アヅミン...40~100kg
ココナッツヒート...100~200kg
石灰質資材...マリンカルまたは苦土石灰
10aあたり100kg (前年未施用140kg)
※施用後、有機物資材と併せて中耕する。
〈苦土資材〉...エコマグ、スーパーマグ、藍マグ 土壌分析で不足の場合、施用する。

除草剤使用基準

●ラウンドアップマックスロード
使用時期: 雑草生育期 (収穫7日前まで) 使用回数: 3回以内
50~100倍 (スズナには25倍)
〔薬量10a当たり 500ml~1,000ml〕
〔散布液量 10a当たり 50リットル〕
※散布の際は専用のノズルを使用する。
●ハスター液剤またはザクザク液剤
使用時期: 雑草生育期 (収穫2日前まで) 使用回数: 3回以内
100~200倍
〔薬量10a当たり 500ml~1,000ml〕
〔散布液量 10a当たり 100リットル〕
※いろいろな散布。
●シムナー水和剤
使用時期: 3月、7月上旬 (収穫7日前まで) 使用回数: 2回以内
土壌全面に散布または雑草茎葉に散布 750倍
本剤のみでの散布は雑草の生育を止めることとが重要
〔薬量10a当たり 200g〕
〔散布液量 10a当たり 150リットル〕

★農薬散布時の注意点★

- 風の無い時を選んで散布する
- 近接作物に飛散しないように注意する
- 散布の位置と方向に注意する
- 使用時期・回数基準に厳守する
- 散布機の圧力は適切にする
- 残液は、海・川・池に流さない
- 散布量は適切にする

重点管理作業	み	旬	かん	中 晩 柑	追加防除 (必要な場合実施)	定期(基幹)および追加防除 シモン
● 春草の除草	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	全	かん	中 晩 柑	クミアイアタックオイル アフロドフロアブル(※多量のみ) 元気 1番 1,000倍	クミアイアタックオイル アフロドフロアブル(※多量のみ) 元気 1番 1,000倍
● 春肥の施用	いしじ・中晩柑	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 花肥の施用 (10aあたり硫酸20kg)	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 温州みかんの剪定 (開花後に弱剪定)	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 夏肥の施用	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	下	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 摘果剤使用方法 みかんの摘果剤は、はるみの摘果:1,000倍 (摘果後10~40日後) フィガロン乳剤 みかんの摘果剤は、はるみの摘果:2,000倍 (摘果後20~50日後) ※千ばつ病、樹勢低下の場合使用しない	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● タイベックマルチの被覆	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 中晩柑の荒もぎ摘果	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 中晩柑の仕上げ摘果	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 夏草の除草 ● 温州みかん熟期促進 (1回目) ● フィガロン乳剤 3,000倍 ※千ばつ病、樹勢低下の場合使用しない	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	下	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 葉面散布 (果皮強化と品質向上) カルビタP 770倍	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 温州みかん熟期促進 (2回目) フィガロン乳剤 3,000倍	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 秋肥の施用...中晩柑	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 温州みかんの仕上げ摘果	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 葉面散布 (果皮強化と品質向上) カルビタP 770倍	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	下	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 葉面散布 (果皮強化と品質向上) カルビタP 770倍	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 秋肥の施用...みかん	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● タイベックマルチの除去	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	下	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	中	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	下	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍
● 樹勢維持・回復の葉面散布時には 万田31号 10,000倍 またはケルバック3,000倍を混用する。	みかんハダニ カイガラムシ 樹勢維持	上	かん	中 晩 柑	かいよう病 ICポルドー66D 40倍	かいよう病 ICポルドー66D 40倍

追 加 防 除

(必要な場合実施)

定期(基幹)および追加防除
シモン

栽培日誌には必ず記帳を行いましょう!

※ICポルドーを散布する場合、クミアイアタックオイルは3月上旬に散布し、散布間隔は14日間以上あける。
※発芽期にICポルドーを散布する場合は葉害防止のためにアピオンE1000倍を混用する。

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

※アピオンE1000倍を混用すること。
※エムタイム水和剤は令和8年に防除暦から削除する(販売終了のため)

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

黒点病の追加防除(8~9月)
定期防除後、累計降雨量が200ミリを超える場合行う。
※総使用回数、収穫前日数に注意
ジマンドアセム水和剤(水) 600倍
総使用回数 前日を含めて4回以内
収穫前日数 みかん30日前、中晩柑90日前
アピオンE1000倍
総使用回数 3回以内
収穫前日数 みかん、中晩柑 前日

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤40 1,000倍
※展着剤を混用すること。

満開期
コアオハナムグリ類
ケシキスイ類
灰色かび病
アグロコリダニ
黒点病
樹勢維持

5月下旬~6月上旬
かいよう病 黒点病
アザミウマ類
スピノエースフロアブル 6,000倍

6月中旬~下旬
クミアイアタックオイル
トランスフォームフロアブル 2,000倍
ジマンドアセム水和剤 600倍
元気 1番 1,000倍

7月中下旬~
アピオン水和剤 1,000倍
ファイブアップフロアブル 4,000倍
キノンドー水和剤 800倍
元気 1番 1,000倍

※ジマンドアセム水和剤・ベンコゼブ・エムタイムは使用すると散布後90日間は収穫できない。
台風前防除

8月下旬~
かいよう病 クプロシールド 2,000倍

秋先にハダニが発生した場合
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
みかんハダニ ニ
※散布後7日間収穫できない。

9月中下旬(中晩柑のみ)
ジマンドアセム水和剤 600倍
カルビタP 770倍
※散布後90日間収穫できない。

クミアイアタックオイル
アフロドフロアブル(※多量のみ)
元気 1番 1,000倍

かいよう病 ICポルドー66D 40倍

4月上旬(発芽後) デランフロアブル 1,000倍
※皮膚がむしやけやすい場合はICポルドー80倍を使用する
(4月~5月)
ケムシ類 オリオン水和剤4